様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	11・学図	第１学年 第２学年 第３学年	数学・730 数学・830 数学・930	中学校数学１ 中学校数学２ 中学校数学３
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　数と式 第１学年では、つり合うように天秤に載せたものの数量を表した等式に値を代入して両辺を比べる活動、第２学年では、チケットの枚数から遊園地にある２種類の乗り物に乗車した回数を求める方程式を立てて解を調べる活動、第３学年では、一定の長さのロープを使って作った長方形の花壇の面積と辺の長さの関係を文字や次数に着目して調べる活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　図形 第１学年では、合同な三角形を敷き詰めて描かれた模様から２つの三角形に着目して移動の方法を考える活動、第２学年では、角の二等分線の作図が正しいことを既習の図形の性質を用いて説明する活動、第３学年では、直接には測定することが困難な樹木の高さを相似な図形の性質を利用して求める活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　関数 第１学年では、プールに水を入れるときの時間と水位などの伴って変わる２つの量の関係について表を用いて調べる活動、第２学年では、30 年で１ ㎝ 伸びる鍾乳石の長さと経過した年数との関係について表を用いて調べる活動、第３学年では、斜面を転がるボールの転がった距離と転がり始めてからの時間の関係を表やグラフを用いて調べる活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　資料の活用 第１学年では、落下している定規をキャッチしたときの定規の位置の長短について度数分布表等を活用して考える活動、第２学年では、さいころを多数回投げて３の目が出た回数や相対度数をまとめて表やグラフに表す活動、第３学年では、野球場が満員になったときの男女の人数について標本調査を使って推定する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 第１学年では、正・負の数を使って図書館の利用者数を求める活動、第２学年では、一次関数を使って自転車の速さを求める活動、第３学年では、標本調査で男子の身長の平均値を推定する活動など、補充的な学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 第１学年では、いろいろな考え方を文字式で表し比べる活動の後に、数量の関係を等号や不等号を使った等式や不等式で表す活動を取り扱い、第２学年では、三角形の内角や外角の定理をまとめる活動の後に、二等辺三角形の定義や底角が等しいことを証明する活動を取り扱い、第３学年では、円周角の定理を活用し円外から引いた接線の長さの性質をまとめる活動の後に、直角三角形の各辺を１辺とする３つの正方形の面積の関係を調べる活動を扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○　内容の分量 第１学年～「数と式」は 111 ページ、「図形」は 69 ページ、「関数」は 37 ページ、「資料の活用」は 26 ページであり、総ページ数は 295 ページで、前回より約 7%増となっている。 第２学年～「数と式」は 53 ページ、「図形」は 67 ページ、「関数」は 37 ページ、「資料の活用」は 22 ページであり、総ページ数は 239 ページで、前回より約 7%増となっている。 第３学年～「数と式」は 85 ページ、「図形」は 85 ページ、「関数」は 34 ページ、「資料の活用」は 16 ページであり、総ページ数は 295 ページで、前回より約 7%増となっている。			
使用上の配慮等	○　章の扉に、学習に対する意欲を高め問題解決を通して問いが生まれるような身近な題材を設ける(全学年)とともに、巻末に、授業で切り取って並べたり組み立てたりして活用できるような作業用の厚紙を設ける(全学年)など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　章の導入に、話合い活動や観察、操作、実験など数学的活動に取り組む場面を設けたり(全学年)、巻末に、課題学習で扱うことができる「課題学習・自由研究」のページを設けたり(全学年)するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　章末に、学習内容を復習できる「小学校の計算」や「1 年の復習」などを設けたり(全学年)、目次において、学習のつながりや系統性が分かるように関連する小学校や前学年までの既習事項を示したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連ある教材は、「陸別町の気温」など、8 箇所取り上げられている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、見やすい色づかいにするなど、カラーユニバーサルデザインに配慮した工夫がなされている。 ○　燃焼による水温の変化の問題を取り上げるなど、自然現象を科学的に理解し、処理する基本的な能力を養うことができるよう配慮されている。			